

Zoomによる読書会（リーディング・セミナー）の開催要項

実施責任者：竹澤祐丈

Takezawa X econ.kyoto-u.ac.jp

（上記メールアドレスの [X] を [@] に打ち換えてください）

<企画の趣旨>

コロナ禍での新しい学会活動の模索のため、学会員の多くが関心を持つと思われる近年の重要著作を検討・議論する読書会を、Zoomを利用して開催します。

<対象書籍>

ロバート・D・パットナムほか『アメリカの恩寵—宗教は社会をいかに分かち、結びつけるのか』柏書房、2019年、7800円＋税。

- 第1章 アメリカにおける宗教的分極化と多様性
 - 第2章 挿話—古きものと新しきもの
 - 第3章 アメリカの宗教性—歴史的背景
 - 第4章 アメリカの宗教性—激震と二つの余震
 - 第5章 切り替え・整合・混合
 - 第6章 宗教におけるイノベーション
 - 第7章 挿話—エスニシティ、ジェンダーと宗教
 - 第8章 女性革命、不平等の増大と宗教
 - 第9章 多様性、エスニシティと宗教
 - 第10章 挿話—いかに宗教と政治が結びつくのか
 - 第11章 アメリカ政治における宗教
 - 第12章 エコー・チェンバー—会衆内部での政治
 - 第13章 宗教とよき隣人性
 - 第14章 分断された家？
 - 第15章 アメリカの恩寵—寛容な国家がいかにその宗教的分断を橋渡しするか
- エピローグ



<実施の形態>

- ・参加の要件：①日本ピューリタニズム学会の学会員である者
②将来入会することに関心がある者（学部生や、研究職以外の者も歓迎）
※連続しての参加を歓迎しますが、部分参加も可能
※**常勤職以外の若手の学会員が、司会・モデレーターあるいはレジュメ担当を4回以上務めた場合、研究奨励金として2万円を支給（5名程度を想定）**
- ・参加手続き：**7月22日（水）午前11時まで**に、竹澤までメールで申し込むこと。その際、現在の所属、簡単な自己紹介、この読書会への期待などをメール本文で書くこと。また**上記の研究奨励金を希望する場合は、その旨を記すこと**。
のちほど申込者に対してメールで、Zoomへの参加情報を送付するので、それをもとに開催日時（10分前から入室可）にログインすること。
- ・形式など：①1回2時間程度で毎週の実施。合計で9回開催。**参加無料**。
②**Zoomを利用（どこからでも参加可能！）**
③レジュメ作成を交代で担当し、それ以外は自由に議論

<開催日程>

多様な会員属性に配慮し、**平日の夕方 18:30-20:30** に設定。家事・育児・介護・その他で
ご多忙の方も、可能な限りやりくりの上でご参加いただければ幸いです。

第一回：8月3日（月）

司会・モデレータ：竹澤祐丈、レジュメ：〇〇〇〇

①会の進め方、②自己紹介、③第1章の検討・議論

第二回：8月10日（月・祝）

司会・モデレータ：〇〇〇〇、レジュメ：〇〇〇〇（2章）、〇〇〇〇（3章）

①第2・3章の検討・議論

第三回：8月17日（月）

司会・モデレータ：〇〇〇〇、レジュメ：〇〇〇〇（4章）、〇〇〇〇（5章）

①第4・5章の検討・議論

第四回：8月24日（月）

司会・モデレータ：〇〇〇〇、レジュメ：〇〇〇〇（6章）、〇〇〇〇（7章）

①第6・7章の検討・議論

第五回：8月31日（月）

司会・モデレータ：〇〇〇〇、レジュメ：〇〇〇〇（8章）、〇〇〇〇（9章）

①第8・9章の検討・議論

第六回：9月7日（月）

司会・モデレータ：〇〇〇〇、レジュメ：〇〇〇〇（10章）、〇〇〇〇（11章）

①第10・11章の検討・議論

第七回：9月14日（月）

司会・モデレータ：〇〇〇〇、レジュメ：〇〇〇〇（12章）、〇〇〇〇（13章）

①第12・13章の検討・議論検討

第八回：9月21日（月・祝）

司会・モデレータ：〇〇〇〇、レジュメ：〇〇〇〇（14章）、〇〇〇〇（15章）

①第14・15章の検討・議論検討

第九回：9月28日（月）

司会・モデレータ：竹澤祐丈、レジュメ：〇〇〇〇（エピローグ）

①エピローグの検討・議論、②全体の振り返り